

地域日本語教室運営者・コーディネーター向け研修 「地域日本語教室のグループ運営をふりかえろう、 そして前に進もう」

主催：(公財)横浜市国際交流協会

環境の急激な変化により、地域日本語教室も状況に応じた取り組みが必要となっている今、グループ運営やコーディネートを行う立場にある人たちと、運営について一緒に考える研修を行いました。

「コロナ以前の活動が出来ず、現状での活動を模索している」「日本語教室がどのような状況になっているのか情報交換を希望」「判断に迷ったときに同じ立場の方と話し合いたい」などの問題意識をもった、18の日本語・学習支援教室の方たち（代表、コーディネーター、窓口担当など）が集まりました。

全2回の講座は、ボランティアグループの特性やボランティアマネジメントなどについての講義と、講義を受けて自分たちの活動をふりかえり、参加者同士が情報共有をしながらテーマを深めるグループ討議の組み合わせで行われました。ご自身も外国につながる人へのボランティア教室と関わりのある講師にリードしていただき、参加者のみなさんは、自分の教室をふりかえったり、新たな情報を得たりしながら、教室継続への意欲と、次の一步に踏み出す活力を得ることができたようです。

異なる教室の人同士が出会い語り合うことの大切さを、改めて感じた講座となりました。



テーマ

第1回「グループの運営、どうしていますか？」
第2回「ボランティアグループ、困りごとあるある」

講師

妻鹿ふみ子さん
(東海大学健康学部教授
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター
協会代表理事)

日時

2022年2月18日(金)、2月25日(金)
14:00-16:30(全2回)

場所

オンライン (Zoom)

対象

横浜市内の地域日本語教室等の運営やコーディネートを行う立場にある人
日本語支援での企画運営等のコーディネートを行う人

参加者数

24人(のべ参加者数42人)
第1回22人 第2回20人

参加者の声

- この機会に、組織の運営について考えることができた。また、他グループの皆さんの様子が伺えた。
- どの団体も様々な問題を抱えているが、学習者の気持ちに寄り添いながら、ボランティアの日本語を教える資格の有無にかかわらず丁寧な対応をしていることに心が温かくなった。
- 普段中々聞けない他の団体の情報を知ることができたのはよかった。今の自分たちの会の現状を客観的に見つめることができた。



よこはま日本語学習支援センター
Yokohama Nihongo Support Center
<https://yokohama-nihongo.com>
運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！



地域日本語教室運営者等向け研修会

「地域日本語教室のグループ運営をふりかえろう、そして前に進もう」



講師の妻鹿ふみ子さん

第1回 2/18(金)

「グループの運営、どうしていますか？」

講座はミニ講義「グループのライフサイクルとボランティアグループの特性」から始まりました。グループにも人と同じようにライフサイクルがあること。そのステージに応じて、成長要因やひずみがあり、変化していくこと。また、ボランティアグループの特質やメンバーの役割など。これらの話を受けて、個人ワーク（講師提供のツールを使った、自分のグループ診断）を行いました。

後半は、グループ討議とその内容共有が中心でした。グループ診断の結果を交えて、自己紹介と自分たちの活動を紹介したのち、運営における困りごとを出し合い、また、その解決方法を話し合いました。40分間でも時間が足りないという声のでるほど、話が尽きない様子でした。

全体共有では、開催方法（オンラインか対面か）について、学習者の減少や変化について、ボランティア減少やメンバー間のコミュニケーションについて、また託児についてなど、グループに共通した課題が次々と出されました。

第2回 2/25(金)

「ボランティアグループ、困りごとあるある」

第2回は、第1回グループ討議で出された困りごとを深めていきました。

まずは、ミニ講義でスタートです。「よりよいボランティア受け入れ」のための、ボランティアマネジメントの理論と流れについてのお話でした。専門的な内容でしたが、運営スタッフ、利用者、ボランティア三者の活動ニーズがオーバーラップする部分をさがすこと、また、ニーズをボランティアプログラムに落としとしていく要素やプロセスを知ることができ、ボランティア受け入れにあたっての考え方が整理されました。その要素に基づいたワークシートを使って自分たちの活動を整理してみる、個人ワークの時間もありました。

グループ討議では、前回の話題をもとに、以下の論点（テーマ）が提示され、参加者はテーマごとの4グループに分かれ、討議を行いました。

* * 「運営上の困りごとに関する論点（テーマ）」 * *

- (1) オンラインvs対面
- (2) 社会の変化にどう活動を対応させていくか
- (3) リーダー層のリクルートをどうするか（次の世代の担い手）
- (4) 新規加入のボランティアの定着をどうはかるか

全体共有では、「学習者ニーズに応えることで信頼関係ができ、さらにニーズが把握できる」「ボランティア同士が仲よく、なんでも話せるコミュニケーションがとれることを目指したい」など、グループ運営に共通する視点が、だされました。

最後に講師から、運営の基本にたちかえるよすがとして「ボランティアコーディネーター基本指針」（日本ボランティアコーディネーター協会）を紹介いただき、2回の研修を終えました。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」
をサポートします！

